学校番号	T3017

令和８年度　学校設定教科

教科	将来設計	科目	（学）生活設計	単位数	２単位	年次	２年次（３年制） ３年次（４年制）
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活にも使えそうな知識・技術を学びます。また、将来一人暮らしを考えている人に役立つことを学びます。
・コンテストに応募するなどもしています。表現力も伸ばしていこうと思っています。
※食物アレルギーがある人は、必ず申し出てください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
家計の構造など生活に直接かかわる事柄を理解し、生活情報の収集や整理が適切にできる。また、生活に関わる漢字や言葉を習得し、活用することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
生活における意思決定や責任ある行動について、実生活から課題を発見し、実践を通して改善し、相手に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
実生活において直面する課題に対して、積極的に改善に取り組んだり、自分事として考えようとしたりしている。また、課題解決にむけて他者に相談したり、助言したりしながら、コミュニケーションを積極的に取ろうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家計の構造など生活に直接かかわる事柄を理解し、生活情報の収集や整理が適切にできる。また、生活に関わる漢字や言葉を習得し、活用することができる。	生活における意思決定や責任ある行動について、実生活から課題を発見し、実践を通して改善し、相手に伝える力を養う。その際、話の筋道を考えて話す力や、論理的に物事を考える力等が身についている。	実生活において直面する課題に対して、積極的に改善に取り組んだり、自分事として考えようとしたりしている。また、課題解決にむけて他者に相談したり、助言したりしながら、コミュニケーションを積極的に取ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生活力	人生設計 １人暮らしするために必要なお金 住宅の間取り	a:人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 b:ライフスタイルと将来の家庭生活について問題を見出し、解決することができる。 c:ライフプランを立て、自己の生き方を、相手に伝えようとする。また、意見を聞こうとする。	プリント	プリント	プリント
	生きるために必要なこと	衣生活 洗濯について TPO	a:衣服の表示、手入れについて理解している。 b:管理の必要性やその方法について、日常生活の中での活用を考えることができる。 c:自分の衣生活に関心をもち、改善・向上に積極的に取り組もうとする。	プリント	プリント	プリント
後期	生活力	・調理実習 年 10 回予定 ・コンテスト	a: 栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができる。 b:食品選択や献立作成など、実際の食事づくりに向けての正しい判断ができる。 c:自分自身の食生活について関心をもつとともに、意欲的に改善・向上に努めようとする。	プリント 実習	プリント	プリント 実習
	基礎学力	日常生活で出会う漢字や言葉	a:漢字や言葉の知識を高める。 b: 話し言葉と書き言葉を理解し、適切な表現で自己の考えを表現する。 c:積極的に漢字や言葉の使い方を考え、人に伝えようとする。	プリント	プリント	プリント

	表現力	オリジナル作品製作コンテスト	a:オリジナル作品の大切さを理解している。また、用具などの使い方も適切にできる。 b:いつ誰にどのようにと、伝えたいことなど、発想や構想を練り、オリジナル作品を作ることができる。 c: オリジナル作品を作るためにどのようにしたらよいか、振り返り、改善して、意欲的に取り組んでいる。	プリント	プリント	プリント作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度